

講義名:	ヒューマンスキルプログラム	講義時間数: 62時間	受講コース名: 全コース
担当:	小童 望未・坂上 弘次・安藤 啓示・後田 祥吾・西本 麻衣	単位数: 4単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2025年度 前期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	4/3(木)～4/8(火)の4日間で新入生研修Ⅰを実施 4/21(月)～4/25(金)の5日間で新入生研修Ⅱを実施。なお、4/24(木)・4/25(金)の2日間については友愛の丘で宿泊研修を行う。		
講義概要:	新入生研修Ⅰでは5つの約束・共通ルール・掃除・挨拶といった社会人としての基本的マナーや人間性の基礎を学ぶ。 新入生研修Ⅱではチームとしての考え方や行動の仕方を学ぶ。 宿泊研修では新入生研修の集大成として、学んだことを実践する。		
到達目標:	専門学生だけではなく、社会人としての基礎・基本を学び、社会人にふさわしい人間性を身に付ける。 チームや集団として行動していく中で、個人の役目や役割を意識した行動や言動が採れるようになる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	新入生研修Ⅰ(5時間)…5つの約束、明元素		
2回目	新入生研修Ⅰ(5時間)…気を付け・礼、ヨイオアシス、共通ルール、ケーススタディ		
3回目	新入生研修Ⅰ(5時間)…掃除研修、研修スタッフスピーチ、スピーチ原稿作成		
4回目	新入生研修Ⅰ(5時間)…新入生スピーチ、入学式リハーサル		
5回目	新入生研修Ⅱ(2時間)…鍋プロジェクト準備		
6回目	新入生研修Ⅱ(2時間)…鍋プロジェクト準備		
7回目	新入生研修Ⅱ(2時間)…鍋プロジェクト準備		
8回目	新入生研修Ⅱ(10時間)…友愛の丘宿泊研修		
9回目	新入生研修Ⅱ(10時間)…友愛の丘宿泊研修		
10回目	新入生研修Ⅱ(2時間)…研修の振り返り		
11回目	5/16(金) ヒューマンスキルプログラム①(アサーティブな対応)		
12回目	5/30(金) ヒューマンスキルプログラム②(メモ・傾聴・姿勢 発展研修)		
13回目	6/13(金) ヒューマンスキルプログラム③(PSA研修)		
14回目	6/27(金) ヒューマンスキルプログラム④(掃除 発展研修)		
15回目	7/11(金) ヒューマンスキルプログラム⑤(ベースポ)		
16回目	7/25(金) ヒューマンスキルプログラム⑥(OBOG座談会)		
授業教材等:			

講義名:	セルフマネジメント I B-①	講義時間数: 100時間	受講コース名: 公務員	
担当:	種村 誠	単位数: 6単位	学年: 1年	
講義形式:	演習(小テスト・スピーチなど)		実施時期: 2025年度 前期	
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:	
追試験実施:	無			
備考:	原則、全登校日の1限目に実施。日々積み重ねていくことが最も重要な科目であるため、試験ではなく、出席率・提出物を評価の対象とする。			
講義概要:	日直主導で企業朝礼を意識した挨拶・唱和の実施、情報共有・スケジュール確認他朝テストなどの帯学習実施 スピーチによる自己開示を含めた発信力の強化			
到達目標:	自律する力、自ら考える力、行動する力、感謝する心を身につける。 自分の考えを自分の言葉で表現できる。他者の考えを素直に吸収し人間性の幅を広げられる。			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
毎回共通	唱和・情報共有・小テスト(漢字・一般常識・基礎学力)・スピーチ・ディスカッション ※時期により内容変動有り			
授業教材等:	オリジナルプリント			

講義名:	数的推理 I B-①	講義時間数: 30時間	受講コース名: 公務員
担当:	安廣 啓示	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2025年度 前期
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)		
備考:	追試日に公欠(または公欠に準ずる欠席)が認められる場合、後日に試験受験可能。授業内確認テストの再テストを放課後に実施する場合あり。		
講義概要:	公務員試験において必要とされる基礎学力(計算力・論理的判断力・読解力)を鍛える。		
到達目標:	基本的な計算を迅速、正確に処理でき、文章から計算式を組み立て解答を示すことができる。 難解な問題に対し、粘り強くアプローチし解決することができる。チームでの教え合いを通して、コミュニケーション能力、献身的な姿勢を身に着ける。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	対比①		
2回目	対比②		
3回目	対比③		
4回目	対比④		
5回目	割合①		
6回目	割合②		
7回目	割合③		
8回目	割合④		
9回目	濃度算①		
10回目	濃度算②		
11回目	濃度算③		
12回目	濃度算④		
13回目	濃度算⑤		
14回目	試験対策		
15回目	単位認定試験		
16回目			
授業教材等:	オリジナルプリント		

講義名:	数的推理 I B-②	講義時間数: 30時間	受講コース名: 公務員	
担当:	安廣 啓示	単位数: 2単位	学年: 1年	
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2025年度 前期	
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:	
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)			
備考:	追試日に公欠(または公欠に準ずる欠席)が認められる場合、後日に試験受験可能。授業内確認テストの再テストを放課後に実施する場合あり。			
講義概要:	公務員試験において必要とされる基礎学力(計算力・論理的判断力・読解力)を鍛える。			
到達目標:	基本的な計算を迅速、正確に処理でき、文章から計算式を組み立て解答を示すことができる。 難解な問題に対し、粘り強くアプローチし解決することができる。チームでの教え合いを通して、 コミュニケーション能力、献身的な姿勢を身に着ける。			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
1回目	仕事算①			
2回目	仕事算②			
3回目	仕事算③			
4回目	仕事算④			
5回目	速さ①			
6回目	速さ②			
7回目	速さ③			
8回目	速さ④			
9回目	速さ⑤			
10回目	速さ⑥			
11回目	速さ⑦			
12回目	速さ⑧			
13回目	速さ⑨			
14回目	試験対策			
15回目	単位認定試験			
16回目				
授業教材等:	オリジナルプリント			

講義名:	数的推理 I B-③	講義時間数:	46時間	受講コース名:	公務員
担当:	安廣 啓示	単位数:	3単位	学年:	1年
講義形式:	座学・演習			実施時期: 2025年度 前期	
認定方法:	認定試験(筆記)			実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)			実務経験:	
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)				
備考:	追試日に公欠(または公欠に準ずる欠席)が認められる場合、後日に試験受験可能。授業内確認テストの再テストを放課後に実施する場合あり。				
講義概要:	公務員試験において必要とされる基礎学力(計算力・論理的判断力・読解力)を鍛える。				
到達目標:	基本的な計算を迅速、正確に処理でき、文章から計算式を組み立て解答を示すことができる。 難解な問題に対し、粘り強くアプローチし解決することができる。チームでの教え合いを通して、コミュニケーション能力、献身的な姿勢を身に着ける。				
講義スケジュール(変更の可能性有り)					
1回目	場合の数①			17回目	復習プリント⑤
2回目	場合の数②			18回目	復習プリント⑥
3回目	場合の数③			19回目	復習プリント⑦
4回目	場合の数④			20回目	復習プリント⑧
5回目	確率①			21回目	試験対策
6回目	確率②			22回目	試験対策
7回目	確率③			23回目	単位認定試験
8回目	確率④			24回目	
9回目	確率⑤			25回目	
10回目	損益算①			26回目	
11回目	損益算②			27回目	
12回目	損益算③			28回目	
13回目	復習プリント①			29回目	
14回目	復習プリント②			30回目	
15回目	復習プリント③			31回目	
16回目	復習プリント④			32回目	
授業教材等:					

講義名:	判断推理 I B-①	講義時間数: 32時間	受講コース名: 公務員	
担当:	服部 成志	単位数: 2単位	学年: 1年	
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2025年度 前期	
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:	
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)			
備考:	試験日に公欠(または公欠に準ずる欠席)が認められる場合、後日に試験受験可能 授業内確認テストの再テストを放課後に実施する場合有り			
講義概要:	公務員試験において必要とされる基礎学力(計算力・論理的判断力・読解力)を鍛える			
到達目標:	問題を解くプロセスが、仕事を進めていくプロセスとにしているため、どのような段取りを進めれば いいかなどを推理し完成させるための判断を身につける。チームでの教え合いを通して、コミュ ニケーション力、献身的な考え方を身につける。			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
1回目	オリエンテーション			
2回目	対応関係(講義・演習)			
3回目	対応関係(講義・演習)＋確認テスト			
4回目	対応関係(講義・演習)			
5回目	対応関係(講義・演習)＋確認テスト			
6回目	試合と勝敗(講義・演習)			
7回目	試合と勝敗(講義・演習)＋確認テスト			
8回目	試合と勝敗(講義・演習)			
9回目	試合と勝敗(講義・演習)＋確認テスト			
10回目	順次順序(講義・演習)			
11回目	順次順序(講義・演習)＋確認テスト			
12回目	順次順序(講義・演習)			
13回目	順次順序(講義・演習)			
14回目	順次順序(講義・演習)＋確認テスト			
15回目	順次順序(講義・演習)			
16回目	順次順序(講義・演習)＋確認テスト			
授業教材等:	オリジナルプリント			

講義名:	判断推理 I B-②	講義時間数: 48時間	受講コース名: 公務員
担当:	服部 成志	単位数: 3単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2025年度 前期
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)		
備考:	試験日に公欠(または公欠に準ずる欠席)が認められる場合、後日に試験受験可能 授業内確認テストの再テストを放課後に実施する場合有り		
講義概要:	公務員試験において必要とされる基礎学力(計算力・論理的判断力・読解力)を鍛える		
到達目標:	問題を解くプロセスが、仕事を進めていくプロセスとにしているため、どのような段取りを進めれば いいかなどを推理し完成させるための判断を身につける。チームでの教え合いを通して、コミュ ニケーション力、献身的な考え方を身につける。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	順次順序(講義・演習)	17回目	立体図形(講義・演習)
2回目	順次順序(講義・演習)＋確認テスト	18回目	立体図形(講義・演習)
3回目	位置関係	19回目	立体図形(講義・演習)＋確認テスト
4回目	位置関係＋確認テスト	20回目	サイコロ(講義・演習)
5回目	位置関係	21回目	サイコロ(講義・演習)＋確認テスト
6回目	位置関係＋確認テスト	22回目	単位認定試験対策 復習
7回目	単位認定試験対策 復習	23回目	単位認定試験
8回目	方位(講義・演習)	24回目	
9回目	方位(講義・演習)＋確認テスト	25回目	
10回目	うそとホント(講義・演習)	26回目	
11回目	うそとホント(講義・演習)＋確認テスト	27回目	
12回目	命題(講義・演習)	28回目	
13回目	命題(講義・演習)	29回目	
14回目	命題(講義・演習)＋確認テスト	30回目	
15回目	平面図形(講義・演習)	31回目	
16回目	平面図形(講義・演習)＋確認テスト	32回目	
授業教材等:	オリジナルプリント		

講義名:	政治経済ⅠB-①	講義時間数: 30時間	受講コース名: 公務員	
担当:	種村 誠	単位数: 2単位	学年: 1年	
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2025年度 前期	
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目	○
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験: 岡山県公立小中学校事務職員 勤務歴3年	
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)			
備考:	試験日に公欠(又は公欠に準ずる欠席が認められる場合、後日に試験受験が可能。 授業内確認テストの再テスト、再々テストを放課後に実施する場合あり。 放課後の再テスト等無断欠席の場合は授業時間欠席に相当させる可能性あり。			
講義概要:	公務員試験科目である政治経済について学習する。 オリジナル教材を使用し、講義と課題演習によりトレーニングする。			
到達目標:	政治経済に関する基礎知識を身に付け、日本および世界のニュースに対する自らの意見をもつ。 難解な問題に対し、粘り強くアプローチし解決することができる。 チームでの教えあいを通して、コミュニケーション能力、献身的な考え方を身に付ける。			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
1回目	オリエンテーション(授業のすすめ方・勉強方法について)			
2回目	大日本帝国憲法と日本国憲法①			
3回目	大日本帝国憲法と日本国憲法②			
4回目	大日本帝国憲法と日本国憲法③ 確認テスト			
5回目	基本的人権①			
6回目	基本的人権②			
7回目	基本的人権③ 確認テスト			
8回目	需給曲線①			
9回目	需給曲線② 確認テスト			
10回目	市場経済①			
11回目	市場経済② 確認テスト			
12回目	国会①			
13回目	国会②			
14回目	国会③ 確認テスト			
15回目	単位認定試験			
16回目				
授業教材等:	オリジナルテキスト			

講義名:	政治経済ⅠB-②	講義時間数: 30時間	受講コース名: 公務員	
担当:	種村 誠	単位数: 2単位	学年: 1年	
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2025年度 前期	
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目	○
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験: 岡山県公立小中学校事務職員 勤務歴3年	
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)			
備考:	試験日に公欠(又は公欠に準ずる欠席が認められる場合、後日に試験受験が可能。 授業内確認テストの再テスト、再々テストを放課後に実施する場合あり。 放課後の再テスト等無断欠席の場合は授業時間欠席に相当させる可能性あり。			
講義概要:	公務員試験科目である政治経済について学習する。 オリジナル教材を使用し、講義と課題演習によりトレーニングする。			
到達目標:	政治経済に関する基礎知識を身に付け、日本および世界のニュースに対する自らの意見をもつ。 難解な問題に対し、粘り強くアプローチし解決することができる。 チームでの教えあいを通して、コミュニケーション能力、献身的な考え方を身に付ける。			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
1回目	内閣①			
2回目	内閣②			
3回目	内閣③ 確認テスト			
4回目	裁判所①			
5回目	裁判所②			
6回目	裁判所③ 確認テスト			
7回目	地方自治①			
8回目	地方自治②			
9回目	地方自治③			
10回目	地方自治④ 確認テスト			
11回目	景気変動①			
12回目	景気変動②			
13回目	景気変動③			
14回目	景気変動④ 確認テスト			
15回目	単位認定試験			
16回目				
授業教材等:	オリジナルテキスト			

講義名:	政治経済ⅠB-③	講義時間数: 48時間	受講コース名: 公務員	
担当:	種村 誠	単位数: 3単位	学年: 1年	
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2025年度 前期	
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目	○
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験: 岡山県公立小中学校事務職員 勤務歴3年	
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)			
備考:	試験日に公欠(又は公欠に準ずる欠席が認められる場合、後日に試験受験が可能。 授業内確認テストの再テスト、再々テストを放課後に実施する場合あり。 放課後の再テスト等無断欠席の場合は授業時間欠席に相当させる可能性あり。			
講義概要:	公務員試験科目である政治経済について学習する。 オリジナル教材を使用し、講義と課題演習によりトレーニングする。			
到達目標:	政治経済に関する基礎知識を身に付け、日本および世界のニュースに対する自らの意見をもつ。 難解な問題に対し、粘り強くアプローチし解決することができる。 チームでの教えあいを通して、コミュニケーション能力、献身的な考え方を身に付ける。			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
1回目	金融政策①		17回目	総まとめ復習演習①
2回目	金融政策②		18回目	総まとめ復習演習②
3回目	金融政策③		19回目	総まとめ復習演習③
4回目	金融政策④ 確認テスト		20回目	総まとめ復習演習④
5回目	財政政策①		21回目	総まとめ復習演習⑤
6回目	財政政策②		22回目	単位認定対策①
7回目	財政政策③		23回目	単位認定対策②
8回目	財政政策④ 確認テスト		24回目	単位認定試験
9回目	国際政治①		25回目	
10回目	国際政治②		26回目	
11回目	国際政治③		27回目	
12回目	国際政治④		28回目	
13回目	国際政治⑤ 確認テスト		29回目	
14回目	国民経済計算①		30回目	
15回目	国民経済計算②		31回目	
16回目	国民経済計算③ 確認テスト		32回目	
授業教材等:	オリジナルテキスト			

講義名:	言語・文章理解 I B	講義時間数: 40時間	受講コース名: 公務員
担当:	小童 望未	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2025年度 前期
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)		
備考:	実務教育出版社に作文添削を依頼(3回分)		
講義概要:	文章作成の基本的なルールや構造を理解し、一定のクオリティの作文を書くためのテクニックを学ぶ。また、長文読解のコツをつかみ、長文問題で安定して点数をとれるようになる。		
到達目標:	文章作成における基本を身に付け、読み手に伝わる文章を作成できるようになる。 長文読解の能力を伸ばし、筆者の意図を正確に読み取ることができるようになる。 SPI(言語)について基本的な解き方を理解することができる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	オリエンテーション、長文読解の解き方	17回目	文章表現のレクチャー⑦、就職してやりたいこと作成
2回目	SPI(言語)の問題実施	18回目	文章表現のレクチャー⑧、長文読解の問題実施
3回目	原稿用紙の使い方、短文作成	19回目	単位認定試験対策
4回目	外部評価作文の実施(1回目)	20回目	単位認定試験
5回目	SPI(言語)の問題実施、長文読解の問題実施	21回目	
6回目	SPI(言語)の問題実施、長文読解の問題実施	22回目	
7回目	SPI(言語)の問題実施、長文読解の問題実施	23回目	
8回目	SPI(言語)の問題実施、長文読解の問題実施	24回目	
9回目	外部評価作文の実施(2回目)	25回目	
10回目	文章表現のレクチャー①、自己PR作成	26回目	
11回目	文章表現のレクチャー②、SPI(言語)の問題実施	27回目	
12回目	文章表現のレクチャー③、志望動機作成	28回目	
13回目	文章表現のレクチャー④、長文読解の問題実施	29回目	
14回目	文章表現のレクチャー⑤、ガクチカの作成	30回目	
15回目	外部評価作文の実施(3回目)	31回目	
16回目	文章表現のレクチャー⑥、SPI(言語)の問題実施	32回目	
授業教材等:	オリジナルプリント		

講義名:	TKP I B-①	講義時間数: 40時間	受講コース名: 公務員
担当:	種村 誠	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2025年度 前期
認定方法:	その他(出席率・授業態度・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	TKP…外部講師(一般社団法人未来創成学院理事 三宅範行氏)による授業		
講義概要:	TKP…県内における地域課題の解決や地域活性化を目指す。またその過程の中で、岡山イノベーションコンテスト(中国銀行・山陽新聞社・岡山ガス主催)にエントリーする。		
到達目標:	TKP…岡山イノベーションコンテスト(中国銀行・山陽新聞社・岡山ガス主催)にエントリーすることで、他団体(高校・大学・一般)の活動を学んだり、外部評価を受けたりしながら、より良いビジネスプランを企画できるようになる。また、プランを企画するだけでなく、実際に活動することで本質的な地域課題解決を目指すことを目標とする。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	探求活動・業界研究導入	17回目	後期の活動テーマ設定・行動計画
2回目	テーマ設定・行動計画	18回目	後期の活動テーマ設定・行動計画
3回目	フィールドワーク	19回目	最終発表
4回目	フィールドワーク	20回目	最終発表
5回目	フィールドワーク	21回目	
6回目	業界研究・プレゼン資料作成	22回目	
7回目	業界研究・プレゼン資料作成	23回目	
8回目	業界研究・プレゼン資料作成	24回目	
9回目	中間発表	25回目	
10回目	中間発表	26回目	
11回目	フィールドワーク	27回目	
12回目	フィールドワーク	28回目	
13回目	フィールドワーク	29回目	
14回目	業界研究・プレゼン資料作成	30回目	
15回目	業界研究・プレゼン資料作成	31回目	
16回目	業界研究・プレゼン資料作成	32回目	
授業教材等:			

講義名:	キッズビジネスパーク I B-①	講義時間数: 40時間	受講コース名: 公務員
担当:	小童 望未・後田 祥吾	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2025年度 前期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	カンコーマナボネクト株式会社様と共同で授業を進めていく。		
講義概要:	「はたらくとは？」を自分なりに考えていき、進路選択に活かす。 外部企業と協働する実践的な学びを経て、経験値の可視化、共有、キャリア形成を図る。 「キッズビジネスパーク」のイベント企画・運営を実施する。		
到達目標:	企業との協働を通じて社会の仕組みや企業を多角的にみる視点を養う。 体験談を交えた自己PRの作成、および自己表現ができるようになる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	オリエンテーリング、希望者からメンバーを選出	17回目	イベント当日に向けた準備
2回目	プロジェクトの流れの説明、「はたらくとは？」について考える	18回目	キッズ当日の概要説明
3回目	提案企業候補の選出	19回目	イベント当日に向けた準備
4回目	企業訪問に向けてのマナー講座	20回目	イベント当日に向けた準備
5回目	企業へのアポ取り練習、提案資料作り	21回目	
6回目	企業へのアポ取り実施、提案資料作り	22回目	
7回目	提案資料作り、プレゼンリハーサル	23回目	
8回目	企業訪問実施、プロジェクト提案	24回目	
9回目	キッズ出展企業との交流会	25回目	
10回目	キッズのイベント内容企画	26回目	
11回目	キッズのイベント内容企画	27回目	
12回目	企画について中間発表	28回目	
13回目	キッズのイベント内容企画(ブラッシュアップ)	29回目	
14回目	キッズのイベント内容企画(ブラッシュアップ)	30回目	
15回目	キッズ出展企業との交流会	31回目	
16回目	イベント当日に向けた準備	32回目	
授業教材等:			

講義名:	業界研究ⅠB-①	講義時間数:	40時間	受講コース名:	公務員
担当:	安廣 啓示	単位数:	2単位	学年:	1年
講義形式:	座学・演習			実施時期: 2025年度 前期	
認定方法:	その他(外部評価・出席率・提出物等を得点化)			実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)			実務経験:	
追試験実施:	無				
備考:	フィールドワーク、官庁訪問など学外に出て活動を実施。 認テストの再テストを放課後に実施する場合あり。				
講義概要:	業界研究…希望する官庁、企業およびその業界について研究し、職業知識を深めると同時に自身の職業観、就職後のビジョンについて考える。活動内容のプレゼン発表を行う。				
到達目標:	業界研究…目指す業界、職業について正しい知識を身につけ、現状を理解したうえで自身のビジョンをもつ。業界の特性や求められる資質を理解することで、ミスマッチを減らす。				
講義スケジュール(変更の可能性有り)					
1回目	希望する官庁、企業およびその業界の選択			17回目	活動報告書(プレゼンテーション)作成
2回目	活動計画書の作成			18回目	活動報告書(プレゼンテーション)作成
3回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク			19回目	活動報告書(プレゼンテーション)作成
4回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク			20回目	最終発表
5回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク			21回目	
6回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク			22回目	
7回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク			23回目	
8回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク			24回目	
9回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク			25回目	
10回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク			26回目	
11回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク			27回目	
12回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク			28回目	
13回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク			29回目	
14回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク			30回目	
15回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク			31回目	
16回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク			32回目	
授業教材等:					

講義名:	選択科目AⅠ(人文科学)	講義時間数: 32時間	受講コース名: 公務員	
担当:	横田 悟・小童 望未	単位数: 2単位	学年: 1年	
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2025年度 前期	
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:	
追試験実施:	無			
備考:	動画授業を受講。			
講義概要:	公務員試験で出題される人文系科目(日本史・世界史・地理)のうち、自身で科目を選択し、動画授業を視聴・学習する。			
到達目標:	公務員試験で出題される人文系科目について学び、解答に必要な知識を身に着ける。 働くうえで必要となる一般教養を身に着け、円滑な業務の一助とする。			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
毎回共通	日本史・世界史・地理の動画授業の中から自由に選択し、学習を進める。			
	必要なレジュメ等は自身で印刷し、自分のパソコンから授業を受講すること。			
授業教材等:	オリジナルプリント等			

講義名:	選択科目A I (自然科学)	講義時間数: 32時間	受講コース名: 公務員	
担当:	安廣 啓示・後田 祥吾	単位数: 2単位	学年: 1年	
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2025年度 前期	
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:	
追試験実施:	無			
備考:	動画授業を受講。			
講義概要:	公務員試験で出題される人文系科目(物理・化学・生物・地学)のうち、自身で科目を選択し、動画授業を視聴・学習する。			
到達目標:	公務員試験で出題される自然系科目について学び、解答に必要な知識を身に着ける。 働くうえで必要となる一般教養を身に着け、円滑な業務の一助とする。			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
毎回共通	物理・化学・生物・地学の動画授業の中から自由に選択し、学習を進める。			
	必要なレジュメ等は自身で印刷し、自分のPCから授業を受講すること。			
授業教材等:	オリジナル教材等			

講義名:	選択科目A I (模擬試験)	講義時間数: 32時間	受講コース名: 公務員
担当:	後田 祥吾	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	演習		実施時期: 2025年度 前期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	無		
講義概要:	新教養試験やSPI試験の対策として、紙媒体またはeラーニング教材を用いて行う。		
到達目標:	公務員試験において時間管理を徹底し、失敗のリスクを減らす。 模試の結果をもとに、合格までの距離を把握し、学習のモチベーションを高める。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	授業のうち数回は学科一斉での模擬試験を行い、実力を確認する。		
	eラーニング教材を用いて基礎の定着を図る。		
授業教材等:	オリジナルプリント等		

講義名:	一般知能実践(数的推理)ⅠB	講義時間数: 30時間	受講コース名: 公務員	
担当:	安廣 啓示	単位数: 2単位	学年: 1年	
講義形式:	演習		実施時期: 2025年度 前期	
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:	
追試験実施:	無			
備考:	提出回数の2割に提出が満たなければ、単位を認めないこととする。			
講義概要:	公務員試験の中でも重要な科目の一つである「数的推理」について、毎月過去問や演習型の課題を課し、採点・直しをさせた状態で提出をさせる。			
到達目標:	①自学・自習の学習習慣を身に付けさせる。 ②計画的に演習に取り組み、期日までに目標を達成させる計画性を身に付けさせる。			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
毎回共通	数的推理の演習問題を4月～9月の間に出す。			
授業教材等:	オリジナルプリント			

講義名:	一般知能実践(判断推理) I B	講義時間数: 30時間	受講コース名: 公務員	
担当:	服部 成志	単位数: 2単位	学年: 1年	
講義形式:	演習		実施時期: 2025年度 前期	
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:	
追試験実施:	無			
備考:	提出回数の2割に提出が満たなければ、単位を認めないこととする。 指示通りのやり方ができていなければ再提出の可能性あり。			
講義概要:	公務員試験の中でも重要な科目の一つである「判断推理」について、毎月過去問や演習型の課題を課し、採点・直しをさせた状態で提出させる。			
到達目標:	①自学・自習の学習習慣を身に付けさせる。 ②計画的に演習に取り組み、記述までに目標を達成させる計画性を身に付けさせる。			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
毎回共通	「対応関係」「試合と勝敗」演習問題			
	「順位順序」「位置関係」演習問題			
	「命題」「うそとほんと」演習問題			
	「道順」「空間把握」演習問題			
授業教材等:	オリジナルプリント			

講義名:	一般知能実践(政治経済) I B	講義時間数: 30時間	受講コース名: 公務員	
担当:	種村 誠	単位数: 2単位	学年: 1年	
講義形式:	演習		実施時期: 2025年度 前期	
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目	○
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験: 岡山県公立小中学校事務職員 勤務歴3年	
追試験実施:	無			
備考:	問題直しができている場合、再提出とする。 期限内に提出、再提出ができない場合は単位取得を不可とする。			
講義概要:	政治経済について、単元ごとに過去問や演習型の課題を課し、 採点・直しをさせた状態で提出させる。			
到達目標:	自学自習の学習習慣を身につけさせる。 計画的に演習の取り組み、期日までに目標を達成させる計画性を学ばせる。			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
毎回共通	単元ごとに政治経済の過去問や演習型の課題を課す。			
	(日本国憲法、国会、市場経済など)			
授業教材等:	オリジナルプリント			

講義名:	学科研修 I B	講義時間数: 48時間	受講コース名: 公務員	
担当:	種村 誠	単位数: 3単位	学年: 1年	
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2025年度 通年	
認定方法:	その他(出席率・授業態度・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:	
追試験実施:	無			
備考:				
講義概要:	学校生活において必要な人間性やルールをプレゼン形式で学ぶ。また、学力テストやPC設定など今後の生活において必要な事項を実施する。			
到達目標:	公務員・社会人にとって必要なメンタリティや人間性を学び、今後の学生生活の基礎をつくる。学力テストを通して、基礎的な学力の確認、および勉強の仕方を身に付ける。職業理解を通じて自分自身の視野を広げる。			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
1回目	学科の沿革、目指すべき人物像			
2回目	入学前課題 確認テスト			
3回目	企業ガイダンス(自衛隊他)			
4回目	セルフマネジメントについて、適性試験対策について			
5回目	パソコン設定(ドライブ、メール、オフィス、WEB授業用ソフト設定等)			
随時	面接対策、業界研究他			
	行事運営、参加(片付け等含む)			
	振り返り、履修状況報告書作成・発送			
授業教材等:	オリジナルプリント等			

講義名:	セルフマネジメント I B-②	講義時間数: 54時間	受講コース名: 公務員	
担当:	種村 誠	単位数: 3単位	学年: 1年	
講義形式:	演習(小テスト・スピーチなど)		実施時期: 2025年度 後期	
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:	
追試験実施:	無			
備考:	原則、全登校日の1限目に実施。日々積み重ねていくことが最も重要な科目であるため、試験ではなく、出席率・提出物を評価の対象とする。			
講義概要:	日直主導で企業朝礼を意識した挨拶・唱和の実施、情報共有・スケジュール確認他朝テストなどの帯学習実施 スピーチによる自己開示を含めた発信力の強化			
到達目標:	自律する力、自ら考える力、行動する力、感謝する心を身につける。 自分の考えを自分の言葉で表現できる。他者の考えを素直に吸収し人間性の幅を広げられる。			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
毎回共通	唱和・情報共有・小テスト(漢字・一般常識・基礎学力)・スピーチ・ディスカッション ※時期により内容変動有り			
授業教材等:	オリジナルプリント			

講義名:	検定対策 I B	講義時間数: 50時間	受講コース名: 公務員	
担当:	後田 祥吾・安廣 啓示	単位数: 3単位	学年: 1年	
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2025年度 後期	
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目	○
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験: 後田 パソコン教室 勤務歴3年	
追試験実施:	無			
備考:	授業・模擬試験共にパソコン必須。 講義終盤にてCS試験表計算部門3級本試験を受験する。			
講義概要:	Excelの基本または応用的な使用・操作方法を学ぶ。 講義最終回にCS試験表計算部門3級の本試験を行う。 授業開始10分間はタイピング入力練習を行い、作業スピードの向上を図る。			
到達目標:	CS試験表計算部門3級に合格する。 Excelを使用し、基本的な表やグラフがスムーズに作成できる。			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
1回目	模擬試験初回		17回目	模擬試験⑧
2回目	タイピング練習、Excel基礎①		18回目	模擬試験⑨
3回目	タイピング練習、Excel基礎②		19回目	模擬試験⑩
4回目	タイピング練習、Excel基礎③		20回目	CS試験本試験(予定)
5回目	タイピング練習、Excel基礎④		21回目	
6回目	タイピング練習、Excel基礎⑤		22回目	
7回目	タイピング練習、Excel基礎⑥		23回目	
8回目	タイピング練習、Excel基礎⑦		24回目	
9回目	タイピング練習、Excel基礎⑧		25回目	
10回目	模擬試験①		26回目	
11回目	模擬試験②		27回目	
12回目	模擬試験③		28回目	
13回目	模擬試験④		29回目	
14回目	模擬試験⑤		30回目	
15回目	模擬試験⑥		31回目	
16回目	模擬試験⑦		32回目	
授業教材等:	個人用ノートパソコン			

講義名:	体育 I B	講義時間数: 30時間	受講コース名: 公務員	
担当:	安廣 啓示	単位数: 1単位	学年: 1年	
講義形式:	実技・実習		実施時期: 2025年度 後期	
認定方法:	その他(出席率・授業態度・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目	○
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験: スポーツクラブ勤務歴:18年	
追試験実施:	無			
備考:	・運動ができる服装・シューズなどが用意できていない場合は、見学とする。 (その場合は欠席扱い)			
講義概要:	・生涯にわたって運動やスポーツに親しむのに必要な素養と健康・安全に生きていくのに必要な身体能力, 知識などを身に付ける。			
到達目標:	・社会人となった時に必要な体力やストレス解消法を身につける。 ・自らの行動を振り返り、改善ポイントを自ら探し出すことができる。			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
毎回共通	施設を利用して体力向上を図る(登山・外部マラソンなどに出かける場合もある)			
授業教材等:	体育館、ミライアス			

講義名:	簿記基礎 I B	講義時間数: 34時間	受講コース名: 公務員
担当:	横田 悟	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2025年度 後期
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)	実務経験:	
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)		
備考:	試験日に公欠(または公欠に準ずる欠席)が認められる場合、後日に試験受験可能。 授業内確認テストの再テストを放課後に実施する場合有り		
講義概要:	全国経理検定協会・簿記3級テキストを使用し、お金の流れや簿記の基礎知識を学ぶ。		
到達目標:	商業簿記を通して社会的感覚を養う。 チームでの教え合いを通して、コミュニケーション力、献身的な考え方を身につける。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	オリエンテーション・仕訳基礎	17回目	単位認定試験
2回目	仕訳基礎・簿記の基礎知識(勘定科目他)	18回目	
3回目	仕訳帳、総勘定元帳	19回目	
4回目	決算と試算表について	20回目	
5回目	現金、当座預金	21回目	
6回目	三分法、掛取引、返品	22回目	
7回目	仕入帳、売上帳	23回目	
8回目	商品有高帳	24回目	
9回目	費用・収益	25回目	
10回目	手形、前払金、前受金、仮払金、仮受金	26回目	
11回目	立替金、預り金、現金過不足	27回目	
12回目	決算整理	28回目	
13回目	精算表	29回目	
14回目	試験対策(合計試算表他)	30回目	
15回目	模擬試験①(過去問題実施)	31回目	
16回目	模擬試験②(過去問題実施)	32回目	
授業教材等:			

講義名:	TKP I B-②	講義時間数: 20時間	受講コース名: 公務員	
担当:	種村 誠	単位数: 1単位	学年: 1年	
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2025年度 後期	
認定方法:	その他(出席率・授業態度・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:	
追試験実施:	無			
備考:	TKP…外部講師(一般社団法人未来創成学院理事 三宅範行氏)による授業			
講義概要:	TKP…県内における地域課題の解決や地域活性化を目指す。またその過程の中で、岡山イノベーションコンテスト(中国銀行・山陽新聞社・岡山ガス主催)にエントリーする。			
到達目標:	TKP…岡山イノベーションコンテスト(中国銀行・山陽新聞社・岡山ガス主催)にエントリーすることで、他団体(高校・大学・一般)の活動を学んだり、外部評価を受けたりしながら、より良いビジネスプランを企画できるようになる。また、プランを企画するだけでなく、実際に活動することで本質的な地域課題解決を目指すことを目標とする。			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
1回目	フィールドワーク			
2回目	フィールドワーク			
3回目	フィールドワーク			
4回目	ボランティア活動			
5回目	ボランティア活動			
6回目	業界研究・プレゼン資料作成			
7回目	業界研究・プレゼン資料作成			
8回目	業界研究・プレゼン資料作成			
9回目	最終発表			
10回目	最終発表			
11回目				
12回目				
13回目				
14回目				
15回目				
16回目				
授業教材等:	オリジナルテキスト			

講義名:	キッズビジネスパーク I B-②	講義時間数: 20時間	受講コース名: 公務員
担当:	小童 望未・後田 祥吾	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2025年度 後期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	カンコーマナボネクト株式会社様と共同で授業を進めていく。 11/8(土)・11/9(日)はイベント当日のため、授業あり。		
講義概要:	「はたらくとは？」を自分なりに考えていき、進路選択に活かす。 外部企業と協働する実践的な学びを経て、経験値の可視化、共有、キャリア形成を図る。 「キッズビジネスパーク」のイベント企画・運営を実施する。		
到達目標:	企業との協働を通じて社会の仕組みや企業を多角的にみる視点を養う。 体験談を交えた自己PRの作成、および自己表現ができるようになる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	キッズイベント当日に向けた準備		
2回目	イベント前日準備		
3回目	キッズビジネスパーク当日		
4回目	イベントの振り返り		
5回目	学内発表の準備(プレゼン資料作成・リハーサル)		
6回目	学内発表の準備(プレゼン資料作成・リハーサル)		
7回目	学内発表の準備(プレゼン資料作成・リハーサル)		
8回目	学内発表の準備(プレゼン資料作成・リハーサル)		
9回目	学内発表の準備(プレゼン資料作成・リハーサル)		
10回目	学内成果発表会		
11回目			
12回目			
13回目			
14回目			
15回目			
16回目			
授業教材等:			

講義名:	業界研究 I B-②	講義時間数: 20時間	受講コース名: 公務員	
担当:	安廣 啓示	単位数: 1単位	学年: 1年	
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2025年度 後期	
認定方法:	その他(外部評価・出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:	
追試験実施:	無			
備考:	フィールドワーク、官庁訪問など学外に出て活動を実施。 認テストの再テストを放課後に実施する場合あり。			
講義概要:	業界研究…希望する官庁、企業およびその業界について研究し、職業知識を深めると同時に自身の職業観、就職後のビジョンについて考える。活動内容のプレゼン発表を行う。			
到達目標:	業界研究…目指す業界、職業について正しい知識を身につけ、現状を理解したうえで自身のビジョンをもつ。業界の特性や求められる資質を理解することで、ミスマッチを減らす。			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
1回目	希望する官庁、企業およびその業界の選択			
2回目	活動計画書の作成			
3回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク			
4回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク			
5回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク			
6回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク			
7回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク			
8回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク			
9回目	活動報告書(プレゼンテーション)作成			
10回目	最終発表			
11回目				
12回目				
13回目				
14回目				
15回目				
16回目				
授業教材等:	オリジナルプリント			

講義名:	ビジネス基礎 I	講義時間数: 34時間	受講コース名: 公務員	
担当:	種村 誠	単位数: 2単位	学年: 1年	
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2025年度 後期	
認定方法:	その他(出席率・授業態度・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目	○
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験: 岡山県公立小中学校事務職員 勤務歴3年	
追試験実施:	無			
備考:	卒業必須資格である「ビジネス能力検定ジョブパス3級」の取得を目指す。			
講義概要:	電話応対の実習、名刺交換や席次、冠婚葬祭など、社会人の基礎マナーを身に付ける			
到達目標:	社会人として必要な一般常識や、社会生活を送るうえで知っておくべき基本的な知識を身に付ける。 「ビジネス能力検定ジョブパス3級」の取得。			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
1回目	オリエンテーション(授業のすすめ方)、B検過去問実施		17回目	電話実習の予行演習②
2回目	8つの意識について		18回目	
3回目	コミュニケーションについて		19回目	
4回目	来客対応		20回目	
5回目	B検過去問実施①		21回目	
6回目	メールの出し方		22回目	
7回目	ビジネス文書①(社内)		23回目	
8回目	ビジネス文書②(社外)		24回目	
9回目	B検過去問実施②		25回目	
10回目	ビジネス能力検定ジョブパス3級 受験		26回目	
11回目	敬語表現①		27回目	
12回目	敬語表現②		28回目	
13回目	敬語表現③		29回目	
14回目	電話実習のための講義①		30回目	
15回目	電話実習のための講義②		31回目	
16回目	電話実習の予行演習①		32回目	
授業教材等:				

講義名:	卒業制作 I	講義時間数:16時間	受講コース名: 公務員	
担当:	種村 誠	単位数: 1単位	学年: 1年	
講義形式:	演習		実施時期: 2025年度 後期	
認定方法:	その他(出席率・授業態度・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:	
追試験実施:	無			
備考:	卒業制作の発表をもって単位を認定する。			
講義概要:	1年間の生活を振り返り、プレゼンテーションの作成および発表を行う。			
到達目標:	学校生活の振り返りを行い、反省と学びを得る。 自分を支えてくれている存在について考え、感謝の心を持つ。			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
1回目	オリエンテーション			
2回目	卒業制作①			
3回目	卒業制作②			
4回目	卒業制作③			
5回目	卒業制作④			
6回目	卒業制作発表①			
7回目	卒業制作発表②			
8回目	卒業制作発表③			
9回目				
10回目				
11回目				
12回目				
13回目				
14回目				
15回目				
16回目				
授業教材等:				

講義名:	パソコン操作	講義時間数: 30時間	受講コース名: 公務員	
担当:	後田 祥吾	単位数: 1単位	学年: 1年	
講義形式:	演習・実技		実施時期: 2025年度 後期	
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目	○
評価:	S=90点以上、A=80～89点、B=70～79点、C=50～69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験: パソコン教室 勤務歴3年	
追試験実施:	無			
備考:	授業・単位認定課題共にパソコン必須。 講義後半にて実習課題を設けるので、その提出をもって単位認定とみなす。			
講義概要:	Excelのより実践的な内容を学ぶ。 講義開始10分間はタイピング入力練習を行い、作業スピードの向上を図る。			
到達目標:	Excelのより実践的な操作を学び、それを将来的に活かすことができる。			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
1回目	タイピング練習、Excel応用 絶対参照、相対参照			
2回目	タイピング練習、Excel応用 条件付き書式			
3回目	タイピング練習、Excel応用 IF, AND, OR			
4回目	タイピング練習、Excel応用 SUMIF, COUNTIF			
5回目	タイピング練習、Excel応用 テーブル			
6回目	タイピング練習、Excel応用 複合グラフ、グラフ書式設定			
7回目	単位認定課題作成			
8回目				
9回目				
10回目				
11回目				
12回目				
13回目				
14回目				
15回目				
16回目				
授業教材等:	個人用ノートパソコン			